

## 福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（3月分）

留学先大学：Chulalongkorn University

氏名：中垣 蒼

国際地域学部の中垣蒼です。只今、3月19日午後1時、寮の近くの行きつけのカフェにてこれを書いています。帰国することを選択し、急遽予約したタイ航空が無事飛ぶことを祈るばかりです。まあ暗いニュースの多い3月でしたが、いい経験かなとも思えるので、順を追って書いていきたいと思います。

その前に、2月末に Immigration Bureau にて、ビザの延長手続きに行きました。待ち時間がとても長いことで有名です。私は朝8時に Grab Taxi で現地に到着しました。8時までに着くと、整理券をもらえるのですがそれには間に合いませんでした。すでに300人は並んでいたと思います。結果的にはビザ延長の手続きカウンターにて、88番をもらい、4時間かかりました。3月に更新した友達は朝6時半から並んだにもかかわらず、終了が15時ごろになっていました。私が言った日はラッキーだったようです。SIMカードが使えない件で、タイの電話番号を持っていませんが、最終的にはビザ延長もカシコンバンクの口座開設もうまくいきました。間違いなく、タイ人の助けがあつてこそでした。

3月2日、話すとは長くなりますが、ルームメイトに巻き込まれ14日間の経過観察となりました。Midtermを受ける予定でしたが受けられず、学校にも行けないため、Netflixで楽しみながら英会話の勉強をし、近くのカフェでゆったりするだけの14日間でした。カフェの店員さんにはなにも言わなくても値段を提示されるようになりました。“いつもの”とすら言う必要なくチョコフラッペが出てきます。

この14日間、国際課のみなさま、ご対応いただきありがとうございました。この経験を通して、自分から動く大切さが非常によくわかりました。おそらく動いていなかった場合、なにも変わることなく終わっていたと思います。チュラロンコン大学側との交渉やルームメイトへの説得は、楽なものではありませんでしたがいい経験になりました。

経過観察が終了した3月16日、前日の夜にコロナウイルス感染者が学内に出たとわかり、朝急遽、すべての授業がonlineに移行するとの発表がありました。Midtermを受けるべく大学へ行ったのですが、officeの方も教授もどうしたら良いか少々パニック状態でした。タイではここ1週間ほどで80人ほどは感染者が増え、大学内、大学周辺に多くいることから、この後帰国することを決めます。累計で211人（3月18日まで）しか、と日本の方は思うかもしれませんが、感染者が都市部に集中していること、ニュースから接触者の感染確認がまだ検査中のようで、これから増えていくことが容易に考えられたた

め、この決断に至りました。

それ以降は、留学担当の方に事情を伝え、帰国日を伝え、寮の解約手続きを済まし、帰国する準備はすでに整いました。後は、4月から福井大学生として授業を履修するために手続きを行うことで終わりになるかなと思っています。予定外の事だらけの3月で、精神的にだいぶ疲れています。帰国を楽しみに頑張ります。もちろん、友達に会えなくなる事や、観光に行けなかった事など、心残りは少しありますが3ヶ月の割には内容も濃く、困難も多く、コスパの良い留学だったと思います。長期行けば、より力をつくと思います。日本にいても自分次第だと思うので、切り替えて頑張りたいと思います。

3ヶ月しかいることはできませんでしたが、チュラロンコン大学はとてもいい大学でした。同じ世代の同じ人間なんだと思うようなおふざけもあり、やるときはやるという最高の人たちに恵まれました。人脈が1番大事だと思っている私にとっては、もう少し深い関係を気づけたらなとは思ってしまいますが、たくさんの人に助けられ、たくさん学ばせてもらいました。タイにはまた来るでしょう。

帰国日の3月23日19時にスワンナプーム空港に到着し、キャンセルされていないことを確認し、一安心しました。関空や成田へ行くタイ航空の便のチェックインカウンターは非常に空いており、すぐに発券と預入荷物の手続きが終わりました。搭乗率は30%あるかなといったところで、そんな中でも丁寧な対応をしていただきました。大変な3月でしたが、ほっこりすることも、自分を見つめ直す時間もあり、結果いい時間になりました。

最後にはなりますが、3月に撮った留学中で1番好きかもしれない1枚を。近くの大きな公園で夕方にとった景色です。外で友達や家族と遊んであるだけに見えるかもしれませんが、近頃日本ではあまり見なくなったほっこりする景色でした。

